

熱中症対応で義務付け（早期発見と重篤化防止）

厚生労働省は、職場での熱中症対策を強化する労働安全衛生規則改正省令案の概要をまとめました。省令案概要によると、熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止するため、以下の「報告体制の整備」、「実施手順の作成」、「関係労働者への周知」を事業者にも罰則付きで義務付ける。

- 1 熱中症のおそれがある労働者を早期に発見できるよう、「熱中症の自覚症状がある労働者」や「熱中症のおそれがある労働者を見つけた者」がその旨を報告するための体制（連絡先や担当者）を事業場ごとにあらかじめ定め、関係労働者に対して周知すること。
 ※報告を受けるだけでなく、積極的に「熱中症の症状がある労働者を見つけるための措置」として、職場巡視やバディ制の採用、ウェアラブルデバイス等の活用や双方向での定期連絡等現場において取り組まれている効果的な措置を通達で推奨する。
- 2 熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に迅速かつ確かな判断が可能となるよう、
 - ① 事業場における緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先及び所在地等
 - ② 作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順を事業場ごとにあらかじめ作成し、関係労働者に対して周知すること。

※「報告体制の整備」、「実施手順の作成」、「関係労働者への周知」は、「**WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で連続1時間以上又は1日4時間以上の実施**」の作業（熱中症のおそれのある作業）を対象に罰則付きで義務化の方針。

（令和7年4月上旬に公布、令和7年6月1日に施行予定）

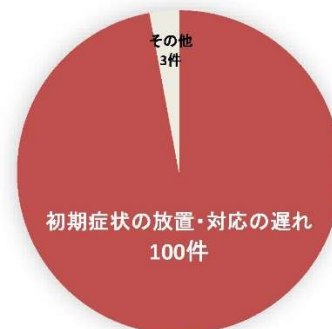
【労働安全衛生規則が改正される背景】

熱中症による死亡災害の多発を踏まえた対策の強化について

職場における熱中症による死亡災害の傾向

- 死亡災害が2年連続で30人を超え、令和6年もそれを上回るペースで発生
- 熱中症は死亡災害に至る割合が他の災害の約5～6倍
- 死亡者の約7割は屋外作業であるため、気候変動の影響により更なる増加の懸念
- **ほとんどが「初期症状の放置・対応の遅れ」**

熱中症死亡災害（R2-R5）の分析結果



早急に求められる対策

「熱中症対策基本要綱」や「クールワークキャンペーン実施要領」で実施を求めている事項、現場で効果を上げてきている対策を参考に、**現場において、死亡に至らせない（重篤化させない）ための適切な対策の実施**が必要

（1）発見の遅れ
重篤化した状態で発見
78件

（2）異常時の対応の不備
医療機関に搬送しない等
41件

公共工事設計労務単価について

標記は、国土交通省、農林水産省、都道府県、政令指定都市、NEXCO等の公共工事を対象として、公共事業従事者の賃金実態を調査する「公共事業労務費調査」の結果に基づき、国が公共工事の積算に用いる単価として決定・公表したもので、公社もこれを適用しております。

令和7年3月から適用される公共工事設計労務単価は、全国全職種単純平均で前年度比**6.0%**引き上げられました。また、必要な法定福利費相当額を加算するなどの措置を行った平成25年度の改訂から**13年連続の引き上げ**により、全国全職種加重平均値が24,852円となりました。労務単価には、事業主が負担すべき人件費（必要経費分）は含まれていません。よって、下請代金に必要経費分を計上しない、又は下請代金から値引くことは不当行為です。

【単価設定のポイント】

- (1) 最近の労働市場の**実勢価格を適切・迅速に反映**し、47都道府県・51職種別に単価を設定
- (2) **時間外労働の上限規制への対応に必要な費用**を反映

【参考資料】

公社で使用する主な職種について、令和4年3月から適用された公共工事設計労務単価と比較しました。

※職種は工事設計労務単価（令和7年3月）が高い順です（単価は神奈川県を採用）

職 種	令和6年3月～	令和7年3月～	差	上昇率
塗 装 工	32,700円	34,200円	1,500円	4.6%
内 装 工	31,700円	33,200円	1,500円	4.7%
防 水 工	31,300円	32,800円	1,500円	4.8%
と び 工	31,300円	32,700円	1,400円	4.5%
左 官	29,900円	31,800円	1,900円	6.4%
特 殊 運 転 手	30,000円	31,400円	1,400円	4.7%
サ ッ シ 工	29,900円	31,300円	1,400円	4.7%
ガ ラ ス 工	29,900円	31,300円	1,400円	4.7%
型 わ く 工	29,900円	31,300円	1,400円	4.7%
鉄 筋 工	29,000円	30,300円	1,300円	4.5%
特 殊 作 業 員	28,500円	29,900円	1,400円	4.9%
電 工	27,700円	29,800円	2,100円	7.6%
は つ り 工	28,500円	29,800円	1,300円	4.6%
ダ ク ト 工	26,000円	28,300円	2,300円	8.8%
設 備 機 械 工	26,400円	27,800円	1,400円	5.3%
保 温 工	26,100円	27,400円	1,300円	5.0%
建 具 工	25,700円	27,100円	1,400円	5.4%
一 般 運 転 手	25,200円	26,900円	1,700円	6.7%
配 管 工	25,600円	26,900円	1,300円	5.1%
普 通 作 業 員	25,300円	26,500円	1,200円	4.7%
交通誘導警備員A	18,800円	19,900円	1,100円	5.9%
交通誘導警備員B	16,600円	17,500円	900円	5.4%